

特殊詐欺の予兆電話について

白石市と角田市と丸森町の事案ですが、近隣市町で発生しているためお知らせします。

10月30日（水）午前11時ころ、白石市八幡町地内のお宅の固定電話機に、息子を装う男から「仮想通貨でもうけたが、税金が支払えなくなり、お金が必要だ。なんとかならないか」などと特殊詐欺の予兆電話がかかっています。

10月30日（水）午前10時20分ころ、角田市尾山地内のお宅の固定電話機に、息子を装う者から「税金を滞納して、国税局に通帳を凍結された。今、弁護士と話合っている」などと特殊詐欺の予兆電話がかかっています。

10月31日（木）午後3時45分ころ、角田市高倉地内のお宅の固定電話機に、百貨店従業員を装う男から「あなたのクレジットカードで35万円のバッグを買った者がいる」「クレジットカードが不正利用されている」などと特殊詐欺の予兆電話がかかっています。

10月31日（木）午後3時30分ころ、丸森町字町東地内のお宅の固定電話機に、警察官を装う男から「角田警察署の者です」「あなたの郵便局の通帳を再発行した人がいたようです」などと特殊詐欺の予兆電話がかかっています。

○県内では、警察官や銀行員を装って、「キャッシュカードが悪用されています。」「手続きのため、キャッシュカードを預かります。」などと言って、キャッシュカードをだまし取る特殊詐欺被害が発生しています。

○このような電話がかかってきた際は、必ず相手の名前や連絡先を確認し、そのまま対応せず、一旦電話を切って、すぐに家族や警察に相談してください。